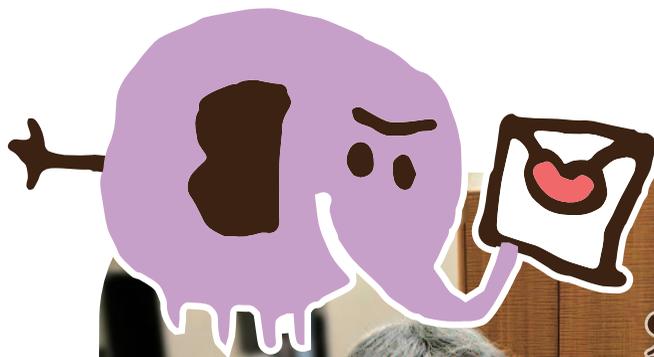


# ASOLETTER

あそれたー vol.05



- 特集①  
令和2年度入職のみなさん
- 特集②  
訪問看護24時
- コノヒトダレヤロ

季節ごとに、みなさんで制作した彩りあざやかな壁画が玄関に飾られます ✨  
【あやな中山寺デイ2021.01月】

# 令和2年度入職のみなさんをご紹介します！

自分を四文字の漢字で表すと？



【座右の銘】エピソード

- ①特技、または趣味
- ②熟中していること、マイブーム

ブンダ特養  
池田あやさん

安全第一

【一期一会】

- ①ビーズで小物作れます！
- ②飼猫の観察



みずほ小多機  
井澤まゆみさん

喜怒哀楽

【ピンチはチャンス】

- ①趣味はDIYです。部屋の模様替えをする時に棚を作ったり除菌収納BOXを作ります。
- ②鬼滅の刃を熟読しアニメ、映画も観ました。次は呪術廻戦ブームが…。



みずほ看護師  
今西麻衣さん

天真爛漫

【思い立ったが吉日】

- ①書道の師範の資格を持っています！
- ②自炊、最近ジムに行きました。



パドマデイ  
内原沙津紀さん

天真爛漫

【思い立ったが吉日】海外へ行きたい！と急に思い友達を誘い、週明けには出発しました(笑)今思えば友達もよく行ってくれたな〜と…(笑)

- ①飲みに行ってる隣の席のお客さんとすぐ友達になって飲めます！笑
- ②お菓子作り

(五十音順)



あそか訪問介護  
江川芳さん

寿司大好

【初心忘るべからず】

- ①友達と食歩き
- ②ウォーキング



あそかデイ  
岡本翔吾さん

人間心無

【一日一日を楽しむ】

- ①RPGのゲームは2日あれば全クリ出来ます
- ②野球とゲーム



あそか保育室  
小泉典子さん

嵐命嵐命

【泣こうか飛ぼうか 泣くより飛ぼうよ】小学6年のとき担任の先生が一人一人に送ってくださった、私の背中を今でも押してくれる言葉です。

- ①マラソン！ホノルルマラソンや篠山マラソンなどに参加。
- ②嵐のDVDを観て、コンサートに行っている気分になる事。活動休止中でもまだまだ続きます。



法人本部事務局  
後藤勝之さん

温厚篤実

【一所懸命】いつも全力で物事に打ち込む心がけています。

- ①特技はないですが、いつも気持ちは体育会系で、体を動かすことが好きです。
- ②Netflix(Netflix)鑑賞/御朱印男子(今は自粛中ですが…)



まあや保育室  
澤岬真衣さん

麺類大好

【七転び八起き】

- ①うどんづくり
- ②バレーボール



ももは特養  
田島大輔さん

日々研鑽

【至る所に青山あり】祖父がよく言っていた言葉です。

- ①カラオケ
- ②ユーチューブ



ウバラ特養  
辻井綾乃さん

笑顔满面

【人生楽しく】

- ①立ちぶりができます！
- ②トウカロン



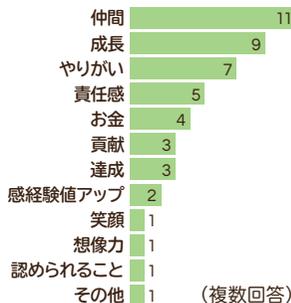
ももは特養  
永井あゆみさん

有言実行

【一期一会】

- ①水中で眠れる
- ②料理！

仕事で重視していることは？



みずほ特養  
中村多也之さん

食欲旺盛

【楽しまずして何の人生ぞや】

- ①動物との触れ合い
- ②バイク、ヤドクガエル

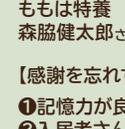


カピラ特養  
原智子さん

暴饮暴食

【明日の自分を信じること】

- ①プライスの服を作ってます。
- ②樹脂粘土でミニチュア作ってます。



ももは特養  
森脇健太郎さん

会人皆師

【感謝を忘れずに】親からの教え

- ①記憶力が良いとよく言われます。
- ②入居者さんの影響で時代劇。



総務部  
山下芳子さん

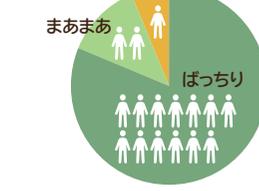
家寝大好

【明日は明日の風が吹く】物事を考え過ぎると、考えることに疲れて、まあいいかとなることが多いです。

- ①いつまでも寝られることです。
- ②キャッシュレス決済のキャンペーンを利用してお得に買い物をする事です。お得だからと余計なものまで買ってしまい結局お得なのかどうなのか謎です(笑)

仕事とプライベートの両立は？

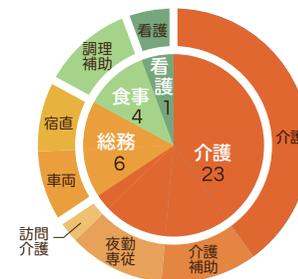
できていないかも



# パート職員のみなさん



拠点別の入職者数



職種別の入職者数

先輩スタッフの印象は？



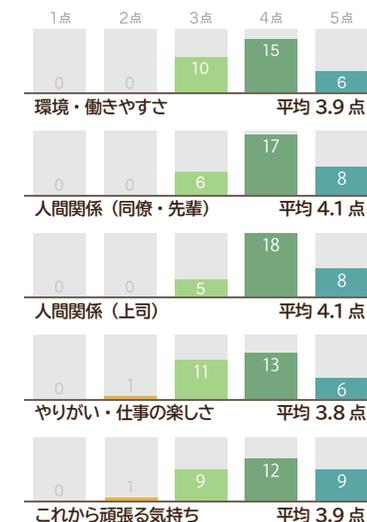
圧倒的に明るさ？!



入職の決め手は？



職場は5点満点で何点？



# 訪問看護24時

知ってるようで知らないかもシリーズ

今回はコロナ禍の影響をとくに強く受けた訪問看護取材。  
コロナ禍で普段とくらべてどれぐらいたいへんだったの？  
そもそも訪問看護の普段ってどんな動きをしているの？  
現在5名のスタッフ※で、それぞれ何名の利用者さんを担当しているの？  
24時間対応って具体的にはどんな対応なの？在宅の看取りとは？  
..など、管理者の吉川さんに話をお聞きしました！

※2021年2月現在

## コロナ禍の影響

—今、何が一番たいへんですか？

退院の調整ですね。病院がひっ迫しているから状態が安定しない中での退院が結構あるんです。しかも、本来であれば在宅でのサービスも整えて退院するためのカンファレンスが密を避けるために開かれず、話し合いができないまま退院、そこから一気に調整になるから、すごきたいへん。ケアマネさんもたいへんだと思います。

—退院の事前準備が全くできない、と。

そう、たとえば食事形態をもうちょっとアップさせてから退院できませんか？とか、カンファがあるからこそ言える部分があったりするんですが、そんなやりとりもできないまま退院になるから看護サマリーから読み解くしかないし、実際に帰ってきたら全然違う状態だった、なんてこともある。病棟に入れず本人にも会いに行けないから、ご本人とも帰ってきてはじめてご挨拶するような状況で、きれいな状態でのスタートとはいえず、利用者さん自身の生活もなかなか落ち着かない。そんななかで自分たちがどれだけ整えてあげられるのかという難しさですね。

—訪問時の感染対策はどうでしょうか。

そこは利用者さんが陽性じゃなくても徹底しています。いろんなサービスを併用している利用者さんが多いから、関わる事業所のなかで一人でも感染者がいれば濃厚接触になる危険はすぐ隣にあるし、もしそうなったら事業を閉めることになるから。吸引などもマスク、フェイスシールド、ガウンをつけて処置しています。

## 24時間対応

—コロナの影響で件数が増えて夜も走り回ることが多くなるようなイメージでしたが。

夜中に走るのとはコロナ禍だからというより、ターミナルで亡くなる方がいたりすると普通に夜中の2時3時走って、次の日普通に仕事ですね。でも、むしろうちの訪問看護ステーションはよそに比べて夜間帯のコールが少ないんです。

—えっ、そうなんですか。

そうなんです。いろんなステーションを見て回る機会の多い看護学校の先生にも驚かれるぐらい。ある程度予測が立てられることは日中の訪問時にスタッフみんなが家族さんを指導してくれているから、家族さんが慌てないんです。だからすごく緊急の数が少ない。鳴らない月もあるぐらい。私たちが呼ばれるときってほんとに、亡くなる時、救急搬送するときですね。

## 在宅での看取り

—今は看取りの方が多いのですか？

多いですね。今回、もう何の治療もできない看取り状態ですよ、っていうIC（インフォームドコンセント）を受けるまえに退院になってしまった方がいて。本人は告知をしっかり受けていないから、わたしたちから見たらもう全然そんなレベルじゃないのに、リハビリして早く元気になりたいわ〜ぐらいの気持ちで帰ってくるの。結局、一週間後に外来で告知を受けて間もなく亡くなられたんです。今のこのコロナ禍の中で、その方の生きてきた人生が、こういう最期を迎えるって..。だからわたしたちは、この状況下で、それがどんなに短い期間だとしても、少しでも生きてよかったと思ってもらえるように関わっていかなくちゃいけない。

—関わり方で大事にしているところは？

訪問に行くとき、飾ってある表彰状だったり昔の写真だったり、その人の生きてきた人生が見えるんです。わたしはその人生に関わっていくなかで、その人が大事にしていることをさいごまで大事にできる環境を作ってあげたい。でもその人の人生だから、もし家族だけでみられるなら、そこにドクターや看護師はべつに必要じゃなくて、わたしたちは医療知識を活かして少し助言ができるというだけの話なんです。その人が安楽に過ごせて、家族の中でその人らしく往けるように、いざというとき家族さんが慌てずいられるために、今後どうなっていくかを想定してお伝えする。だんだん食べられなくなっていくきますよ、だったり、手の色が紫になったらサインが出てますよ、だったり。その時々家族さんの心の状況にも寄り添いながら。

## メンタルが落ちた時

—丁寧にご利用者さんに関わっていると、共感しすぎてしんどくなったりしませんか？

そこは、共感しても、一歩おいて向き合うようにしています。感情が入ってしまうと冷静に見られなくなるし、利用者さんを心配するカタチも家族さんによってそれぞれだから、どんな立ち位置にも立ってあげられるようなところにいるために、自分の気持ちにはセーブをかけて客観的に見るようにしています。

—利用者さんが亡くなられたときは。

どんなに最善を尽くしたと思っても、それって自己満足だから、人生の最期がこれでよかったのか、あのときもっと違う声かけができたんじゃないのか、あの本人さんがどう思いはったやろうか..というのはいつも考えます。在宅で

看取ることを選んだ時から最期まで、家族さんは覚悟して向き合ってきているので、死を受け入れて前に進むことのできる方も比較的多いんですけど、それでもどれだけやっても悔いは残る。お悔やみ訪問に行って、そういうお気持ちを聞かせてもらったりするなかで、また自分たちが向かう先を見つけることができたりもします。

## スタッフについて

—そういう思いをお互い共有したりは？

うちでは「訪問看護の行動指針」を作っていて、それは上からこういう思いで働いてくださいというのではなく、スタッフみんながいま何を大事にして働いているのかを聞き取って作ったものなんです。わたしたちって、みんな向かう先は一緒なんです。ときには方法が違ったり精神的に落ちることもある。でもそうやって迷ったときに、自分たちがどういう思いで仕事をしているのか、ちゃんとそこに立ち戻れるように。そして新しいスタッフにも私たちが大事にしていることを伝えられるように、そういうものを作っています。

—スタッフ間がうまくいかないときもあるのですか？

基本は仲良いですよ。ただ利用者さんのことで意見が食い違ったりはあります。ゴールは一緒だから話せば分かり合えるんですけど、みんなアツいから笑。おもしろいもので、スタッフ間がぎくしゃくしだすと緊急がめっちゃ増えるんですよ。揺れだすの。だからそういうときは、ああ、自分たちが立ち止まって考えなあかんときやなって思う。チームワークがすごく大事になる職種だと実感します。

—現在それぞれ何名を担当されてるんですか？

今はちょっと多いです。ひとりが25名ぐらい持ってますね。でも訪問に行くのは自分の受け持ちだけじゃないから、みんなもっと把握してると思います。

—そんなに覚えていられるものなんですか！

受け持ち以外の訪問だとしてもその時間に責任をもたないといけない。指導する内容にも責任をもたないといけない。訪問が30分なら単純に30分間だけ関われば良いというわけではなく、その人が一日一週間一か月、安心して暮らせるよう整えるためには、いつ往診やったよね、何曜日はデイやったよね、明後日からショートだけ家族さんおらんから薬を用意してあげないと..とか、流れで考える。だから頭に入るのかもしれない。どこのデイ利用しててどこの先生でどこのケアマネさんで..って、ファイルにも入ってるけど基本みんな覚えてますね。だから自分の受け持ちじゃなくても家族さんに同じトーンで対応できる。そこはうちの大きなつよみかなと思います。入職したての新人さんはたいへんでしょうけど笑。

—新人さんへの配慮なども必要ですよ。

うちは長年選手が多いから、新しい職員が入りにくくないように、たとえば、よくやりとりする職員同士の席は敢えて遠く離して、新人さんの席をみんなの会話がよく聞こえる位置に置くなどの工夫もしています。そうやってみんなが話しているのを聞いて、利用者さんのことでこんなディスカッションしていいんや、とか思ってもらえたらいいなと。そして新人さんの声もききながら自分たちのやっていることを伝えていこうと思っています。

参考

●訪問看護ステーションにおける緊急訪問（介護保険）



緊急訪問の時間帯は4割が夜間・深夜・早朝を占めており、実施した内容は「病状のアセスメント」や「モニター測定」が最も多く、ほかに「家族等の介護指導・支援」、「精神的な状態への変化への対応」といった精神的な支援も行われていた

（出典：平成29年度介護報酬改定検証・研究調査より）



### スタッフのみなさんにも話をお聞きしました。



♥スタッフのみなさんへのメッセージ

うちは訪問看護としては規模が小さく、スタッフへの負担が大きいところもありますが、チームを大切に、それぞれが役割を發揮し、なによりも利用者・家族を大切にできる事業所です。「うつさんようにせなアカン」「うつったらデイサービスに行けなくなる」と、利用者・家族のことを常に考えて昼夜なく感染対策をしながら現場に向かってくれる姿を見て、本当に感謝です。スタッフ一人ひとりの優しさが伝わってきます。みんなで意見を出して作り上げた事業所の行動指針は今後も変わることなく自分たちの思いを受け継いでもらえるよう、新しい仲間にも伝えながら、大切にしていきたいと思います。



事業管理者 吉川さん



### 訪問看護を選んだきっかけ(なぜ訪問看護なのか) この仕事を続けられている理由を教えてください！

♥訪問看護をしている友達から話を聞いて興味を持ったこと、子供が小さくても時間的に働きやすかったことがきっかけで訪問看護をはじめたら、抜け出せなくなったという現状です。続けられている一番の理由は、仲間です。訪問看護の仲間はいつもあつく、利用者のことで意見が合わず言い合いになることもあります。ターミナルで関わり方が難しい人のことで悩んでいるときなどみんなで話し合い、みんな自分のことのように真剣に考えて色々なアドバイスをくれます。いつも真面目で、真剣であつて、そんな仲間がいたから今も続けていけているのだと思います。



山中さん

♥訪問看護との出会いは、以前の職場でデイケア業務と兼務で携わったことでした。バックグラウンドや家族様との関わりも見えやすい環境で利用者様を支えることができるということが魅力で現在もこの仕事を続けています。「治してもら」「やってもらう」というセラピスト任せではなく、利用者様に少しでも身体を動かすことを気持ち良く感じていただき、習慣にしていたようにと思いながら、関わらせていただいています。また何より、少しでも「楽しい」と心が動くことを共感できる喜びが原動力になって続けられていると感じています。



長井さん

♥約5年の急性期・一般病院での仕事を経験し、次は生活期の方のリハビリをしてみたいと思っていたときにご縁があって訪問看護に来ました。病院に比べると訪問でのリハビリは利用者さんの個性や習慣、希望を尊重できることが魅力でそこが私自身のやりがいにもつながっています。日々の訪問で色々な方のお話を聞く楽しさも、年々深く感じています。ほかのスタッフとの連携が密で、みなさんにたくさん助けをいただいていること、雇用形態が自分の生活に合わせて、育休・時短・子の看護休暇などの制度を利用させていただいていることも続けられている大きな理由です。



森岡さん

♥病院勤務をしていてターミナルケアに興味を持ち、そのなかでも患者さんの、「家に帰りたい」という希望が多く聞かれたことがきっかけで訪問看護をはじめました。患者・家族主体の看護を考えると「在宅」というのが一番良いと思いました。訪問看護を続けるなかで一人ひとりの利用者さんにより経験できることが違うところや、色々学ぶことが多いため続けられているのではないかと思います。



林原さん

## 訪問看護のグッズ紹介



### ICT（電子カルテ）

紙カルテを確認するためにわざわざ事務所に寄ったりコピーしなくてよかったです、どこにいても利用者さんの状況がわかるというメリットは大きいです。



### これからの過ごし方について

終末期を迎える利用者のご家族さんのためにわかりやすく書かれたパンフレット。

立ち読みできます→



# コノヒトダレヤロ

Who is this person ?

## エピソード

写真は息子の入園式の時の写真です。

あれから息子は40歳になってしまいました。実は、私自身の幼いころの写真を探したのですが、3年前に引っ越しをした際どこに片づけたのかわかりません。この写真も娘から提供してもらったものです。長崎県諫早市で3人兄弟の末っ子として生まれました。その頃九州は台風の発生が多く、誕生の際、祖父が「水子」と名付けようとしたが猛反対にあって今の名前になったとか。反対してくれた人がいて本当に良かったです。建材店を経営していた父のお店の2階に住居があったのですが、床下浸水=1階の商品がすべて水害により流されてしまいました。そんなわけで3歳の頃、南野に住んでいた叔父さんを頼って伊丹市にやってきました。

あれから60年…早いものですね。保育所が嫌いでよく脱走し伊丹小学校の姉のところに行って迷惑をかけていたようです。お父さん子で父によく甘えていたことは覚えています。なんとか学生時代を過ごし、OLと歯科助手を経て21歳で結婚に至りました。阪神大震災のあった年の9月にあそか苑に就職し今に至ります。伊丹市に来てから初めに住んでいた社宅が今の阪急伊丹駅の場所にありました。半世紀昔の伊丹市を知っているので、地元のご利用者様とは昔の伊丹で話が盛り上がります。

## ♡ ヒント

「美奈子」という名前になりました。

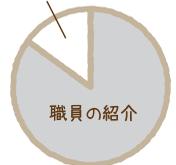
※ 答えは見開きページの右下

## 編 集 後 記

今回は、とくにたくさんの方々にご協力いただきました。インタビューやアンケートへのご協力、写真や文章のご提供に感謝いたします。管理者のみなさまにもお手間をとらせました。お忙しいなか本当にありがとうございました！

たくさん内容をA3用紙一枚に盛り込んだので、少し文字が小さいところもあるのですが、そのぶん「へえ、そうなんや」が、ぎゅっと詰まっていると思います。とくに、令和2年度新入職のみなさんをご紹介するコーナーは、読んだ後でイメージが全然変わってしまう人がいるかも…? という楽しさ!! 必見です!!!!

事業の紹介



あそれたー  
vol.05の成分



広報・村上

♡ PR用などにまとまった部数が必要でしたら、広報までご連絡ください

社内報「あそれたー」は、年3回の発行予定です。次回もどうぞお楽しみに!